



セルトレイ育苗
トラブルとその対処法

● よくあるトラブル ①発芽ムラ



考えられる原因は・・・

・ 種子に原因がある（発芽率が悪い等）

・ 発芽がうまくいかなかった

→かん水量が多すぎ・少なすぎ

培土が水をはじいて、水が染み込んでいない

温度が高すぎ・低すぎ

播種の深さにバラつきがある

・ 発芽後に乾燥した

→発芽～子葉展開までが最も乾燥に弱い時期。

防止策：種子は冷暗所で保管
播種時は適切なかん水を
培土が撥水していないか確認する
発芽適温に注意する
播種深度を揃える
発芽直後の乾燥に注意する

●よくあるトラブル ②肥料切れ

肥料が切れると・・・

- ・葉が黄色～赤色になる
- ・生育が遅くなる



考えられる原因は・・・

・追肥のタイミングが遅い
「黄色になった」時はもう遅い

・かん水が多すぎる
水で肥料が流れている

・追肥が十分にできていない
濃度が薄い
培土に染み込んでいない

古い培土（1年前の培土）を使用すると、通常より肥効切れが早い場合がある

対策：濃いめで追肥する（例：500倍）→1週間程度で葉の色が回復してくる

●よくあるトラブル ③徒長



胚軸が伸びる

ハウスに出すのが遅い・被覆材をはぐのが遅い

光不足（くもりが多い、遮光の時間が長め）

風通しが悪い

かん水・肥料が多すぎる

温度が高い



全体が徒長する

防止策：覆土が盛り上がってきたらハウスに出す

できるだけ換気する
生育後期は屋外で育苗する

曇天・雨天時のかん水に注意する

遮光時間・培土を見直す

●よくあるトラブル ④生育ムラ



考えられる原因は・・・

- ・ かん水ムラ →部分的な乾燥
一番端の苗、トレイの端などかん水ムラにより生育が遅れやすい
- ・ 追肥のムラ
濃い濃度で追肥した場合、特にムラになりやすい
- ・ 発芽ムラ→そのまま生育ムラに
- ・ 古い培土を使用している
→新しい培土と混ぜると、生育ムラになる場合がある

対策：部分的に追肥を行う（生育が悪い部分のみ追肥する）